

神社仏閣を巡る桑野コース

阿南健康第9番完歩

桑野公民館の道

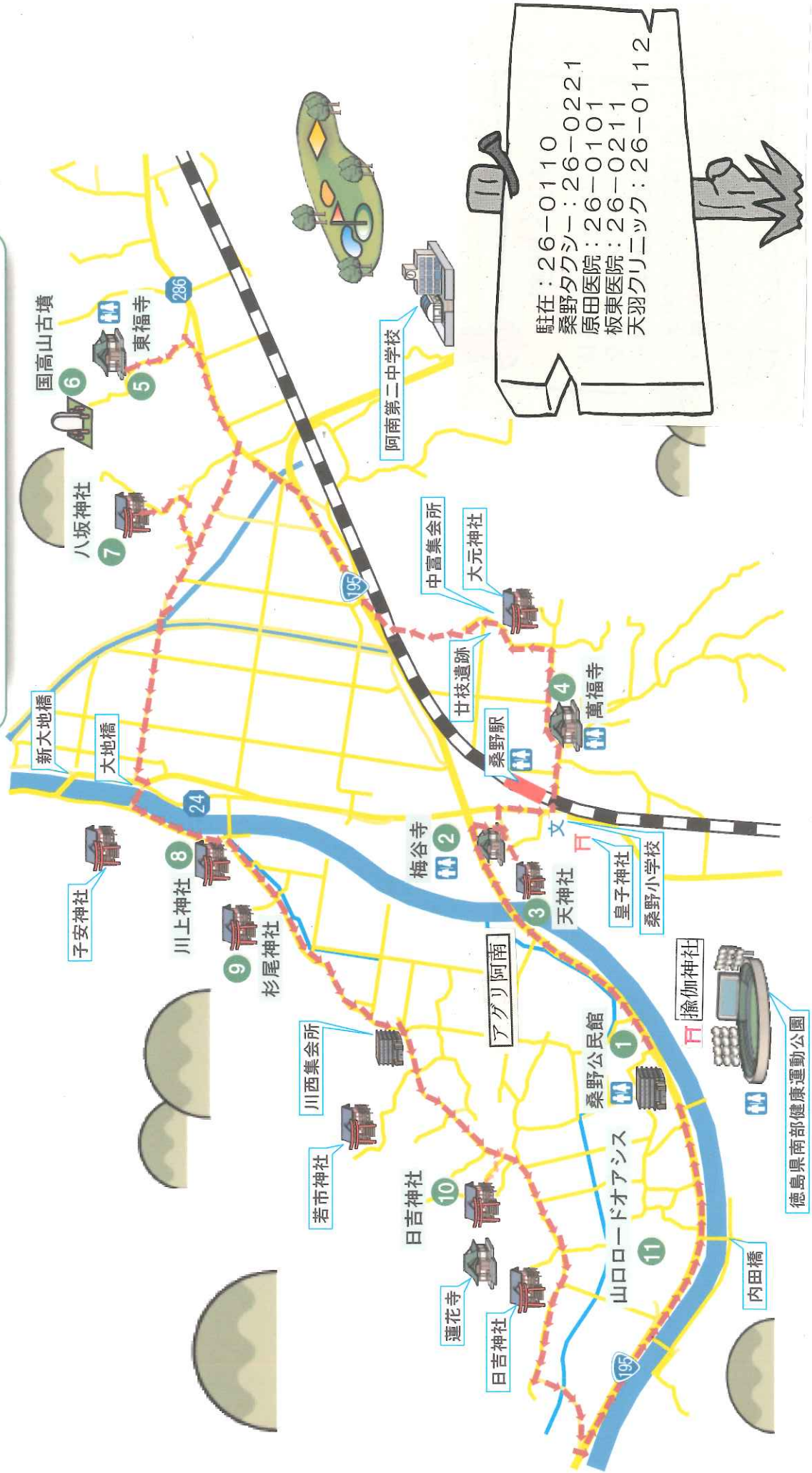
桑野公民館

山口町内田150-1

TEL (0884) 26-1644

住民センター

TEL (0884) 26-0044



駐在：26-0110
 桑野タクシ：26-0221
 原田医院：26-0101
 板東医院：26-0211
 天羽クリニック：26-0112

神社仏閣を巡る桑野コース

阿南健康第9番完歩 桑野公民館の道

- ①桑野公民館 …… (井の口橋) …… ②梅谷寺 …… ③天神社 ……
WC 1.0km WC 130m
- …… (桑野小学校) …… ④眞福寺 …… (中富集会所・中富墓地) ……
500m WC 2.27km
- …… ⑤東福寺 …… ⑥国高山古墳 …… ⑦八坂神社 ……
WC 900m
- … (大地橋) …… ⑧川上神社 …… ⑨杉尾神社 ……
1.83km 200m
- …… ⑩日吉神社 …… 国道195号 …… ⑪山ロードオアシス ……
1.7km 1.1km

桑野公民館

400m WC

●梅谷寺 駅路山普門院梅谷寺は、文明15(1483)年に武田常忠によって建立された。慶長3(1598)年峰須賀家政により駅路寺に指定され寺廻り10石の寺領とお目見寺院の特権を与えられた。「駅路寺」とは、藩内の主要街道に沿った交通、軍事上の要地にある眞言宗8ヶ寺が当てられ旅行者の便宜を図るとともに、その動向の監視役も課せられていた。「お目見」とは、年初めと参勤交代の際に、城中の鷲の間にしてお目見を仰せ付けられることである。

●天神社 御祭神は菅原道真公である。創建は天徳(957～960)年中9月、延喜元(901)年、菅原公が筑紫への下向寺、海上波激しくなつたため、桑野村入江(桑野川)に船を泊め、今の梅谷寺に泊られたようである。

●眞福寺 もと桑野城(栗栖)跡である。16世紀の半ばには、東条関之兵衛が城をかまえ、8ヶ村を治めていた。天正3(1575)年、土佐の長宗我部元親が阿波へ攻め込んだ際、この桑野城は落ちなかった。そこで、関之兵衛が元親の養女を妻とし、関之兵衛も人質を送り、双方は和睦した。その後、関之兵衛は武功を収め、鳴門の木津城主となった

が、豊臣秀吉の四国征伐により、桑野へ戻った。そして、土佐に去つたが殺された。

●廿枝(はたえだ)遺跡 桑野町中富に古代集落群がある。昭和36(1961)年に発見されたが、今は埋立しているので、現場にはそれとわかるものは何もない。

●宝壺山 東福寺 御本尊は薬師如来である。涅槃会は3月中旬。菅島の地藏寺、橋町の光明寺と3ヶ寺で、3年ごとに回り、投銭供養をする。平成11年2月に改築された。

●国高山古墳 国高山古墳は、県南最大の前方後円墳であり、東福寺裏山の通称国高山(標高48.5m)に造営されていた。5世紀中ごろから後期のもと考えられる。内行花文鏡、勾玉、鉄鏃(やじり)、埴輪片などが出土した。

●八坂神社 御祭神は素盞鳴命(すさのおのみこと)である。天正年間(1573～1591年)、内原地区にはやり病が蔓延していた。その時に高僧が訪れ、この病を鎮めるにはこの地に移すようこととで、現在地に祭る。

●川上神社 御祭神は琴姫命。礼祭日は10月23・24日。昭和8年、徳島県指令「兵第1347号の2」により、桑野村字谷52番の1より現在地に移転する。

●杉尾神社 御祭神は瓊瓊杵命(ににぎのみこと)である。礼祭日は10月23・24日。由緒は不明である。

●日吉神社 御祭神は大山咋神(おおやまくいのかみ)である。『阿波誌』に「日吉祠在り里を北山とす」とあり、明治初年に現社号に改めた。

●蓮華寺(れんげじ) 嘉保2(1095)年、大災害があり、仏教を熱心に信じた白川上皇は全国に多くの寺や仏像を造らせていた。上皇の勅命により京から長範(ちようはん)という僧が派遣され、太龍寺と龍禪寺を再興した。その後、長範は山口村に茅庵(ぼうあん)を結んだが、保安2(1121)年死去した。後に、地元の田中仁左衛門が、享保6(1721)年蓮華寺に長範廟(ちようはんびよう)という墓を建立した。

●山ロードオアシス 国道と桑野川の空地を利用して、平成2年にドライバークの休息地として設けられた。地元住民や団体によって清掃管理され、四季の草花が植えられている。初夏には、桑野の花クナシが、純白の花を咲かせ、芳香を漂わせており、時の安らぎを与えてくれる。